

事業番号	15 04 18	事業改善シート (28年度実施事業分)		<input type="checkbox"/> 予算要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	中信地区特別支援学校再編整備事業費			担当課	部局	教育委員会事務局	
総合5か年計画	プロジェクト			課・局・室	特別支援教育課		
	施策の総合的展開	7-1 子ども一人ひとりの個性や能力を伸ばす学校教育の充実 5 すべての子どもの学びを保障する支援		E-mail	<a href="mailto:tokubetsu-shien@pref.nagano.lg.jp">tokubetsu-shien@pref.nagano.lg.jp</a>		
人口定着・確かな暮らし実現総合戦略	信州創生の基本方針			実施期間	H27 ~		
	施策展開						

## 1 事業の概要

目指す姿	松本市内にある4校の特別支援学校を再編することにより、各校の抱える課題の解消や児童生徒の教育的ニーズに応じた教育環境の確保を図る。 一つのキャンパス内に異なる障がい種に対応した学びの場を共存させることにより、過大化・過密化の解消を図る一方、小規模校の学校規模の確保を実現し、教育環境の向上にも努める。																																					
現状 (予算編成時)	○中信地区における知的障がいのある児童生徒の増加 ○一般就労をはじめ、多様な教育的ニーズへの対応																																					
県が関与する理由	県でなければ実施不可(その他)		【左記の説明、根拠法令等】 学校教育法第74条 学校教育法施行規則第1条 中信地区特別支援学校再編整備計画																																			
成果目標・事業内容	① 成果目標 (H28)																																					
	中信地区特別支援学校再編整備計画の第1段階として、松本盲学校内に松本養護学校高等部分教室及び重度重複障がい部門を設置するとともに、寿台養護学校の重度重複障がい部門の受入を拡充し、一般就労を目指す知的障がいのある高等部生徒、医療的ケアの必要な児童生徒の受入を円滑に進める。																																					
	② 事業内容 (単位:千円)																																					
	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">項目</th> <th rowspan="2">実施方法</th> <th rowspan="2">H28事業実績</th> <th colspan="2">H28</th> <th>H29</th> </tr> <tr> <th>(当初)</th> <th>(決算)</th> <th>(当初)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>松本養護学校分教室設置事業</td> <td>直接</td> <td>分教室設置、重度重複部門拡充に向けた施設整備</td> <td>101,758</td> <td>66,893</td> <td>186,080</td> </tr> <tr> <td>寿台養護学校重度重複障がい部門受入拡充事業</td> <td>直接</td> <td>児童生徒の更なる受入のための教室改修</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>児童生徒の新たな学びの場の設置</td> <td>直接</td> <td>寿台養護学校、松本ろう学校における施設整備に向けた改修工事等の実施設計</td> <td>0</td> <td>22,118</td> <td>337,863</td> </tr> <tr> <td colspan="3">合計</td> <td>101,758</td> <td>89,011</td> <td>523,943</td> </tr> </tbody> </table>						項目	実施方法	H28事業実績	H28		H29	(当初)	(決算)	(当初)	松本養護学校分教室設置事業	直接	分教室設置、重度重複部門拡充に向けた施設整備	101,758	66,893	186,080	寿台養護学校重度重複障がい部門受入拡充事業	直接	児童生徒の更なる受入のための教室改修	0	0	0	児童生徒の新たな学びの場の設置	直接	寿台養護学校、松本ろう学校における施設整備に向けた改修工事等の実施設計	0	22,118	337,863	合計			101,758	89,011
項目	実施方法	H28事業実績	H28		H29																																	
			(当初)	(決算)	(当初)																																	
松本養護学校分教室設置事業	直接	分教室設置、重度重複部門拡充に向けた施設整備	101,758	66,893	186,080																																	
寿台養護学校重度重複障がい部門受入拡充事業	直接	児童生徒の更なる受入のための教室改修	0	0	0																																	
児童生徒の新たな学びの場の設置	直接	寿台養護学校、松本ろう学校における施設整備に向けた改修工事等の実施設計	0	22,118	337,863																																	
合計			101,758	89,011	523,943																																	
事業コスト	区分(単位:千円)		27年度	28年度	29年度																																	
	予算額	前年度繰越	0	0	133,262																																	
		当初予算	0	101,758	523,943																																	
		補正予算	9,428	121,517																																		
		合計(A)	9,428	223,275	657,205																																	
	Aの財源	一般財源	9,428	10,097	230,220																																	
		県債	0	152,000	376,000																																	
		国庫支出金	0	61,178	50,985																																	
		その他	0	0	0																																	
	決算額(B)	9,238	89,011																																			
概算人件費	職員数(人)	0.20	0.20	0.20																																		
	概算人件費(C)	1,655	1,583	1,583																																		
概算事業費(B(A)+C)	10,893	90,594	658,788																																			
成果目標の達成状況																																						
項目		H26末	H27末	H28		H29																																
				目標	成果	達成状況																																
分教室入学希望者受入		—	100%	100%	100%	達成 100%																																
重度重複障がい部門希望者受入		—	100%	100%	100%	達成 100%																																
改修等に伴う実施設計		—	—	100%	100%	達成 100%																																

目標に対する成果の状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>松本盲学校において既存校舎改修工事および増築棟建設工事に着手し、同校内に設置された松本養護学校分教室の平成29年度入学生受け入れに必要な施設環境を整備した。</li> <li>計画の第2段階(学びの場の再配置)に向け、松本ろう学校および寿台養護学校の施設整備に必要な工事の実施設計を行った。</li> </ul>
-------------	---

## 2 今後の事業の方向性

今後、事業をどのようにしていきたいか	<input type="checkbox"/> 事業を実施しない <input type="checkbox"/> 事業を見直して実施 <input checked="" type="checkbox"/> 事業を現行どおり実施 ・引き続き、特別支援学校再編整備に必要な施設整備等を行い、各校の抱える課題や児童生徒の教育的ニーズに応じた教育環境を確保する。また、平成30年度を目途に通学利便性を視点にした学びの場の再配置を開始する。
--------------------	--